

畑作等除草剤

ワンクロスWG



除草剤分類

1,5

農林水産省登録	第23047号
有効成分	フルアジホップP・・・・・・・・・・7.0% リニュロン（化管法1種）・・・・・・・・30.0%
性状	淡褐色水和性細粒
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
有効年限	5年
包装	250g × 20袋

特長

✓ 畑地一年生雑草全般に有効

イネ科雑草全般に高い茎葉処理効果を示すフルアジホップPと、一年生雑草全般、特に広葉雑草に対して高い茎葉兼土壌処理効果を示すリニュロンの効果により、一剤でほとんどの畑地一年生雑草を防除することができます。

✓ イネ科雑草に対しては遅効的

広葉雑草に対する効果発現は速効的ですが、イネ科雑草に対する効果発現はやや緩慢で、効果完成までに2～3週間を要する場合があります。

✓ 雑草の後発生を抑える

雑草茎葉処理効果の他、土壌処理効果を有し、一定期間雑草の後発生を抑えることができます。

適用作物と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	フルアジホップPを含む農薬の総使用回数	リニュロンを含む農薬の総使用回数	
			薬量	希釈水量					
だいず	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	250~300g	100ℓ	1回	全面土壌散布	1回	2回以内 (全面土壌散布は1回以内、 雑草茎葉兼土壌散布は1回以内)	
		本葉3葉期以降 (雑草生育期) 但し、収穫45日前まで	200~300g			雑草茎葉兼土壌散布(畦間・株間処理)			
にんじん		は種直後(雑草発生前)	200~250g			全面土壌散布			
		3~5葉期(雑草生育期) 但し、収穫30日前まで				雑草茎葉兼土壌散布			
かんしょ		生育期(雑草発生揃期) 但し、収穫60日前まで	200~300g			雑草茎葉兼土壌散布(畦間処理)			2回以内 (全面土壌散布は1回以内、 雑草茎葉兼土壌散布は1回以内)

※本内容は2020年9月30日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項

一般的注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布液の調製にあたっては本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布してください。
- 砂質で水はけのよい畑では、薬量を控えめにしてください。また、激しい降雨が予想される時には使用しないでください。
- 砂土では使用しないでください。
- マルチ栽培、トンネル栽培等での使用は、薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。ただし、かんしょのマルチ栽培は除きます。
- カヤツリグサ科雑草には効果が劣るので、これら雑草の優占圃場での使用はさけてください。
- 散布薬液の飛散、あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害が生じることのないよう、十分注意して散布してください。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

作物別注意事項

だいずの畦間・株間散布に使用する場合

- 専用ノズルを使用してください。また、噴口はできるだけ低くし、本葉にかからないように散布してください。
- 散布適期は雑草生育期（草丈15cm以下）であり、使用時期を失しないように散布してください。

にんじんに使用する場合

- にんじんの生育期に使用する場合、散布適期は雑草生育期（草丈20cm以下）であり、使用時期を失しないように散布してください。
- 高温時は薬害を生じるおそれがあるので、使用しないでください。
- 特定の品種（ベータ312等）においては生育期に使用すると薬害を生じる場合があるので注意してください。

かんしょに使用する場合

- 散布適期は雑草発生前期（草丈10cm以下）であり、使用時期を失しないように散布してください。
- 作物にかかると薬害を生じるおそれがあるので、かからないように使用してください。

安全使用上の注意事項

- 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

魚毒性等

散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管

密封し、直射日光をさけ、食品と区別して冷涼・乾燥した所に保管してください。